

目次

□巻頭言 建設の機械化今後の課題石川六郎/1
副会長 飯田房太郎氏のご逝去を悼む.....最上武雄/2

□昭和 50 年度官公庁の事業概要 (その 2)

運輸省港湾関係事業の概要永易久幸/4
運輸省空港関係事業の概要是枝孝/7
京浜外貿埠頭公団の事業概要千葉善夫/9
阪神外貿埠頭公団の事業概要増川博/12
日本国有鉄道設備投資計画の概要菅原信男/15
日本鉄道建設公団の事業概要横山章/20
農林省構造改善局の事業概要岡部三郎/25
農用地開発公団の事業概要高野郁夫/28
科学技術庁の事業概要井内登/30

□随想 未来社会と科学技術松島寛/33
種子島宇宙センター施設の概要平木一/36

グラビヤ——種子島宇宙センターの全貌

マレーシア
テメンゴール水力発電所工事の概要藤原儀平/41

トルコ
ハッサン・ウールル水力発電所工事の概要高島康夫/48

国電根岸線に近接する
地下高速道路トンネルの施工概要河野暢夫/53
——五重立体交差と分割施工——

東大寺金堂須屋根新築工事の施工計画伊藤善三/58
大型ロックフィルダムの大型機械化施工早川修司/65

小径管の機械化推進工法による施工白幡昇雄/71
土屋一哲

□文献調査
低圧タイヤによるトラックの走行性能向上化広報部会/78
文献調査委員会

□建設機械化研究所抄報 <No. 109>
318. コンクリート・モービル 6CM 型
可搬式コンクリート連続ミキシングプロセス/80

□統計
建設工事受注額・建設機械受注額
および建設機械卸売価格の推移調査部会/81

ニュース(編集部)/82
行事一覧/82
編集後記(塚原・寺沢)/84

◀表紙写真説明▶

パイプロによるプレハブセル工事

新日本製鉄株式会社
東洋建設株式会社
国際建機株式会社

本機は大阪府の埋立計画に伴う新しい工法に新日本製鉄、東洋建設、国際建機とが協力して開発したパイプロハンマである。モータ出力 60 kW, 最大起振力 39 t のもの 31 台が円形にセットされており、その本機の下にはパイプロ 1 台に対して 6 個の特殊型油圧チャックを装備している。直線型鋼矢板 26.5 m, 184 枚をあらかじめ円形に組立て、直径 23.4 m のものを打込現場までチャックによってつかんだまま移動し、31 台のパイプロを一挙に稼働させて 26.5 m を約 1 時間で打込む画期的な工法である。なお、円の直径は最大 35 mφ, 最小 16 mφ の間、任意の径に調整できるものである。